

「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知県保険医会館内
TEL ; (052)832-1349
FAX ; (052)834-3584

愛知連絡会が第4回定期総会を開催 署名活動の成果を確認して、2010年度の活動方針を決定

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は5月30日(日)午前10時～12時に、愛知県保険医協会伏見会議室で第4回定期総会を開催し、2009年度活動報告、2010年度活動方針などを確認しました。

当日は、連絡会構成団体や一般の市民など53人が参加しました。(2010年度活動方針は4面をご覧ください)

診療報酬引き上げは、私たちの運動の成果 2009年度活動報告一大藪会長



請願署名の目標を達成！

愛知が全国を牽引

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会の総会・記念講演にご参加ありがとうございました。

昨年度に取り組んできた「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名は、みなさんのご協力をいただき目標の6万筆を超えることができました。

正直なところ、署名に取り組む前は、内心「2年前に署名に取り組んだときに5万筆の目標に2千筆足りなくて、あのときも精一杯だったのに6万筆は無理だろう」と思っていました。

しかし、運動の裾野が広がり、多くの方のご協力がいただけました。これが6万筆の目標を達成した原動

力になったと思います。全国では22万筆を集めましたので、愛知で全体の約27%集めたことになりました。愛知が全国を引っ張る力になることができました。

診療報酬の引き上げにも

請願署名が大きな力に

みなさんご存じのように、21世紀になってからの10年間で、小泉・竹中構造改革で日本は滅茶苦茶にされました。歯科は命に関わらないと軽視され、いまだに厚労省の人は、歯科は保険と自費のトータルバランスで経営を成り立たせなさいと言われます。歯科医療が社会保障としての役割を果たせるのかが鋭く問われる10年間になりました。歯科医療費が不安で痛くても治療に通えない人が増えています。

この状況を変えるに署名が大きな役割を果たしたと思います。また、今回は公称で歯科診療報酬改定が2.09%上がりました。署名や自治体決議などの運動がなければ勝ち取れなかったと思います。それを確信させてくれたのが、昨年の署

名の結果だったと思います。

患者さんと一緒に運動で

名古屋市が自治体意見書

愛知連絡会は、2007年に設立しましたが、その年に名古屋市に「保険でより良い歯科医療を」の意見書を採択するよう迫りましたが、簡単に否決されてしまいました。しかし、昨年の6月に、名古屋市会で「歯科医療の充実に関する意見書」が全会一致で上がっています。三重県では、3月に県議会と同じような決議が上がっています。三重県では「医療関係者だけだったら採択されなかった。難病患者さんの団体と一緒に陳情した結果取り上げられた」と話されているようです。

このこと一つとっても、歯科医師だけの運動では解決できなかったと思います。歯科医療は、生まれる前から死ぬまで一生関わる医療ですが、受ける側の国民・住民のみなさんと一緒に運動があってこそです。

私たちの活動は運動だけではありません。なぜ歯科医療が大事なのかをテーマに出前健康講座を開いてきました。今年度は6回開催して148の方が参加されました。私も講師として参加しましたが、

痛いとか、噛めなくて困るとかの相談ではなく、自分の歯を残したいという問いかけが出てくるようになってきました。歯科医療従事者はそれに応えていく必要があると思います。これも患者・住民と一緒にやった運動だからそういう声が聞こえてくるんだと思います。

その他には、あいち高齢者大会分科会企画への参加や定期的な連絡会ニュースの発行などを行っています。

大きなうねりで

運動を前進させよう

一人の力は小さくても集まって大きなうねりを作り出すと国会議員でも無視できません。民主党は国民からの請願は幹事長に集中し、個人の議員は受けないことにしましたが、6万筆もの署名を無視することはできませんでした。日頃の運動をどこまで拡げていけるかが大切です。大きなうねりを作り出せば歯科医療をよくすることができるという確信につながりました。次年度もみなさんと一緒にがんばっていきたいと思います。



記念講演

「歯を大切に健康が花咲いた町」

～25年間、歯科保健活動に取り組んだ町長の経験から～

元兵庫県南光町長 山田兼三氏

記念講演は、元兵庫県南光町長の山田兼三さんをお招きしました。山田さんは、町長に立候補した経緯や議会とのやりとり、町民の要求から歯科保健センターを設立し、8020運動の契機になったことなどを、当時のことを振り返りながら、楽しそうにお話してくれました。

住民をバックにして、夜ごとの行政懇談会



町長になりたいと出馬表明したので、圧力に負けない共産党から何とか候補者を出してほしいと立候補したのです。

兵庫県南光町という町で1980年から2005年まで25年間、町長を務めました山田兼三です。よろしくお願ひ申し上げます。32歳で南光町長に当選しましたが、もともとは南光町民ではなく、町長選挙が始まる三日前に移住して、当選しました。

当時の南光町は、同和行政で混乱し、一部の横暴な人たちが同和地域のまじめな人たちを利用して利権漁りをしていました。部落解放同盟のボスが保守の町政に圧力をかけ、同和関連の財政支出が一般会計予算の50%を超えるというゆがんだ財政運営をしておりました。

保守の町長が病気で亡くなり、部落解放同盟の人が、

首長には大きな権限があります。予算編成権、予算執行権、人事権。この三つの権限を最大限活用して逆差別の同和行政をなくし、すべての住民に対して公平・公正な事業を行いますという公約を実行してきました。

予算編成は、年間予算をどう振り向けるかということが問題なんです。議会は圧倒的に野党多数だったので住民をバックにしようという作戦で行政懇談会をやりました。夜ごと、役所の職員も一緒に出向いていって各集落ごとに話をしました。「要求は何でも言ってください。私の考えも言わせてもらいます」というと、どんどんどんどん要求が上がってきました。

新庄先生・地元歯科医師会の協力で

当時の南光町は無歯科医町で「町営の歯医者さんを作ってもらいたい」という要望が出されました。早速、歯医者さんを作ろうと南光町出身で隣町の佐用町の病院歯科に勤務していた新庄文明先生に相談しました。

大阪大学の医学部の公衆衛生に所属して地域医療に熱心な先生でした。新庄先生は、治療ではなく歯科予防活動をしたい、行き届いた障害者歯科治療をしたいと非常に熱心でした。一般の歯科にかかれない障害者の

方々を優先に自治体の歯科診療所で診ていく必要がある。そういう歯科診療所を南光町でやるんだったら協力しますよと言ってくれました。

憲法第25条には「すべての国民は健康で文化的な最低限の生活をする権利を有する」と明文化され、第二項では「その権利を保障するために、国や自治体は、社会保障や社会福祉の充実に努めなければならない」と規定されていますから、全くその通りだなと思ひ「ぜひその方向でやりましょう。一緒にやってください」と話をしました。このようなきさつで、町営で歯科診療所を作ることになりました。

運営については、佐用郡の歯科医師会の協力をいただいて、民間の先生方と一緒にやっという発想に立ちました。元気な患者さんはできるだけ民間の歯医者さんに行ってもらい、歯科保健センターでは、障害のある方や乳幼児などの歯の治療を優先的に診ていくと歯科医師会の先生方とも話し合い、歯科医師会の全面的な協力をいただいてスタートしました。同時に、治療よりも予防を大切にするため、歯科衛生士による予防体制をとっていくことにしました。

もともと要求することすら思いつかなかったことが、新しい町政になってやってもらえたと歓迎されました。

妊婦さん・こどもたち・成人歯科検診

妊婦さんの健康教室の中で保健師や栄養士が、歯科衛生士と一緒に歯の健康の大切さを話します。歯科保健センターから通知をして、3か月ごとの検診とか、系統的に赤ちゃんの口腔衛生の状況を調査して早めの対応をしていきました。

南光町には小学校が3つあり、併設して公立町営の保育園があります。保育園に歯科衛生士が出かけ歯ブラシの指導などをしました。小学校、中学校では、養護の先生と連携して、学校に歯科衛生士が出かけて歯磨き指導や口腔衛生の大切さ

を丁寧な話をしました。学校の授業時間の中でその時間をとってもらいました。

健康づくり運動には就任当初から力を入れました。新庄先生や保健師などと一緒に、岩手県沢内村に行き、医療・予防について勉強してきました。その中で、やはり検診が大切だとわかり、町ぐるみ健診に取り組むことにしました。健康まつりでは必ず歯の検診を設けて、すべての住民が歯の検診を受けられるような体制を作りました。この成人歯科検診は全国で初めての取り組みでした。



「自治体の運営は首長次第」町長時代の活躍に聞き入る参加者

8020運動が全国に、厚生大臣表彰も

毎年取り組んで、3年分のデータをまとめて日本歯科評論という雑誌に発表しました。検診を行って、その後の予防指導や治療も歯科保健センターでやり、歯科検診に来られない人には訪問歯科検診をして実態を掌握してまとめました。その結果、十分満足な咀嚼機能を維持するには、上下で20本の健全歯が必要である、それ以下では食べにくいということが、明らかになりました。それで成人の早期から、高齢者になっても20本の健全歯を維持することを目標にしようと提唱しました。日本歯科評論の発表が一つの軸になって、8020運動が全国に広まることになったのです。

その結果1997年に参議院の厚生常任委員会で南光町の取り組みが紹介されました。非常にきめ細かく予防を大切に歯の健康状態がよい。医療費も結果的



には総額で節減できていました。そのデータを示したら、当時の小泉純一郎厚生大臣も、この取り組みの良さを認めざるを得なくて、南光町の素晴らしい取り組みを全国に広げたいと答弁しました。その後、厚生省が補助金を作り、今は全国に70か所くらい歯科保健センターができています。歯科保健センターの活動は厚生大臣表彰までいただき、マスコミでも取り上げられて8020運動の実績を紹介していただきました。

自治体というのはやる気になればいろんなことができる。私自身この歯科保健センターの取り組みを通じて勉強になりました。

命と暮らしを守るのが自治体の役割

国民健康保険料も高かったもので、一般会計から国保会計に繰り入れるお金を増やすようにしました。同時に保健予防体制を作って町ぐるみの健康づくり運動を展開しました。その結果、国保料も全体として下げることができました。子どもの医療費もいち早く無料化しようと2003年度に小学校入学前までの無料化を実現しました。合併した今では中学校卒業まで無料化が実現できています。

25年間町長を務めてわかったのは、国のいう通りにしていたら破綻するという事です。財政が破綻している自治体は、ほとんど大規模開発をしているところです。福祉や医療や保健事業を一生懸命やったところで破綻したところはないです。

命と暮らしを守る自治体行政をしていくことこそが本来の自治体の役割です。厳しい環境の中で何を優先するかという課題をきちんと押さえておけば自治体経営は住民本位でできるんです。

南光町は1990年に休耕田を活用してひまわり栽培に取り組みました。農家と役所が相談して一面のひまわり団地を造ったら、多くの方がひまわり畑の観光に来られるようになり、ひまわり祭りの入園料だけでも何百万円の収入になります。役所だけでなく、住民と一緒に取り組むと成果が出てくる、本来自治体経営というのはそんな風におもしろいものなんですよ。

ご静聴賜りましてありがとうございました。

フロアからの質問

一般参加・湯浅さん



一度、山田さんの顔を拝見してお話を聞きたくてきました。この数年、市町村合併が進みましたが、合併して良かったという声ほとんどありません。お話を聞いて国の方針通りやるとんでもないことになると思いました。

北医療生協・浜島さん



以前に南光町を訪問したとき、南光町で普及している歯ブラシをお土産に買いましたが、その歯ブラシの普及運動はどうなっているのでしょうか。それから歯科保健センターはその後どうなっているのでしょうか。

歯科医師・天野さん



私の市では、一般会計の額は222億円、子ども医療支援事業費は2億5千万円くらいです。市長は、お金を払うのは親の責任であると言い、コンビニ受診が増えるという風評を気にしています。南光町で窓口負担軽減に取り組んで、簡単に受診する人が増えて医療費が上がったのか、抑制に転じたのかお聞きしたい。

歯科医師・船川さん



足の悪い方などで歯の治療が必要な方は町の車で歯科センターまで送迎して治療をしていると聞いたが、タクシー業務との関係で制限がかかると思いますが、どうやって解消したのかお聞きしたいと思います。

山田兼三さん



新庄文明先生の発想で、南光町で8020ブラシを開発して、歯科保健センターで売り出しました。今も普及販売しています。

子どもの医療費について無料化を拡大することで医療費が増えませんか。早期発見、早期治療体制をきめ細かくすることによって、総額として医療費の低減化を図ることができたデータがあります。とにかく声をあげて、何を優先するかについては住民運動が大きなパワーになると思います。

送迎について南光町では要望があればワゴン車で迎えに行つて歯科保健センター、民間の歯医者さん、病院や役所にも行きます。陸運局の規制緩和でやりやすくなり町営でやっています。ただし、タクシーの経営も守らなければならないので、福祉タクシーの助成制度を作り、路線バスの利用の援助もしました。住んでいる地域によってきめ細かく外出支援の体制を作ってきました。

合併問題については、当時は小泉構造改革が正しいような雰囲気でしたから、住民投票では合併賛成が多数になってしまいました。今ではいろいろ問題が出てきて合併は良くなかったという話が広がっています。一旦合併すると元に戻れません。今の状態でいかに良くしていくかということですが、がんばるしかない、私も地元でがんばっております。



地道にコツコツ、運動の枠を拡げる1年に 2010年度活動方針—江原副会長



う少し力を発揮しなければいけません。二つ目は出前健康講座です。例えば、国内で被せ物を作ると高いので、安い国で作ろうしていますが、

今年度の方針を提案します。情勢ですが、本当に国民の生活が厳しくされています。歯科が受診できない、ちょっと口の中を見せに足を運ぶことも躊躇する現状は、これからも続くと思います。政治的には、首相が三つ裏切りました。後期高齢者医療制度を廃止すると言ったのに先延ばしする。沖縄は基地問題で県民が怒ってしまい、テレビがみられないほどです。消費税も上げないと言ったのに上げる論議をする。こういう政治情勢を変えていく取り組みをこつこつ地道にやらないとまずいなと実感します。

今年度は大きな署名はありません。みなさんの要求を出し合いながら、運動の枠を拡げる活動を行います。まず自治体の決議です。これは決議を上げる自治体が多いほど国を動かします。50%の自治体で決議を上げさせることが目標です。も

品質は大丈夫か、なぜ日本の中でできないかという疑問もあります。そんなことも学習して、自分たちの力にしていきたいと思います。

10月8日のイレバデーから、11月8日のイイハデーまでの約一ヶ月間は全国各地で、健康講話、歯の供養祭、電話相談などを行います。地域に出かけてお口の中をチェックする取り組みなど、この一ヶ月間で様々な取り組みを行いましょ。

昨日、大阪連絡会が結成されました。来月20日に大分県で設立します。私たちの妹・弟が全国に生まれています。全国各地で取り組みを行うことで変わっていくのではないかと思います。

最後に、今年は知恵を力にがんばる重点の年です。闘いもいっぱいしなければなりません。ぜひ、みなさんと一緒にやっていきたいと思ひます。がんばって運動を進めましょ。

2010年度活動方針

- ① 県内各自治体で「保険でより良い歯科医療を求める意見書」採択運動に引き続き取り組む
- ② 「より良く食べるはより良く生きる」出前学習会を開催する
- ③ イレバデー(10/8)からイイハデー(11/8)までのアピール月間に、高齢者大会や母親大会などで歯の健康と歯科医療改善の必要性を訴えらるとともに、「歯の何でも健康相談」などの取り組みを行う
- ④ 市民向け学習啓蒙企画として市民公開講座を開催する
- ⑤ 会としての要望事項をまとめ関係各所に働きかける
- ⑥ ニュースの定期発行を行う
- ⑦ 事務局会議・世話人会の定期開催と組織の強化をめざす
- ⑧ 「保険で良い歯科医療を」全国連絡会に参加し、全国の運動と協力・共同した活動に取り組む

質疑応答

年金者組合愛知県本部 吉田さん



10年ぶりに歯科診療報酬が2.09%上がったと書いてあります。これは歯医者さんの報酬が上がったということだと思いますが、私たち患者にとっての恩恵になっているのでしょうか

アレルギー支援ネットワーク

栗本さん



昨年の署名でどれだけ貢献できたか自信がありませんが、本日の提案・議論を報告して運動を強めたいと思ひます。

ある歯医者さんでフッ素塗布をしたらアナフィラキシーショックを起こす事故が起きました。フッ化材料の中にカゼインが入っていることによるものです。

私たちは口の中に入れるもので命に関わることがあってはならないと思ひます。

ぜひ今後の運動の中で、アレルギーの患者が安心して歯科治療が受けられる日が来るように一緒に運動を強めていきたいと思ひます。

昨年の署名にもありましたが、診療報酬が上がっても、窓口負担の割合が3割から2割に下がれば、患者さんの負担は下がります。今の窓口負担は高すぎる。

連絡会の要求は、診療報酬引き上げ、窓口負担軽減、歯科の保険適用の範囲拡大です。誰もが安心して受診できるように運動をします。

フッ素でアレルギーを起こすと貴重な経験を教えてくださいました。歯科医師も患者さんからの情報を基に学んでいく仕組みが必要だと思ひます。

愛知連絡会会長 大藪先生 定期総会



多くの人の声を集めて夢を叶えよう 閉会挨拶—事務局・安藤

日曜日の朝早く、たくさんの方のご参加ありがとうございました。本日は53名の参加でした。歯科医療関係者、年金者組合、新日本婦人の会、アレルギー支援ネットワークなどたくさんの方が参加してくれました。山田さんの話にもありましたが、私たちが地域の人たちと手を携えて歯科医療を良くしていくことが大切です。

歯科医療は崩壊の危機に瀕しています。経営の問題もありますが、働く魅力がないと歯科医療従事者が減っ

てきています。しかし、これからの社会は、多くの方が歯科治療を必要とします。

今年1年は裾野を広げる活動で、来年の総会には多くの団体の方がたくさんきていただけるような取り組みが大切です。

山田さんが自治体の対応の話をお聞かせしてくれましたが、多くの人の声を集めていくことが夢を叶えていくことになります。ご協力をお願いいたします。

